

# 文京区内NPOの地域活動に関するアンケート調査結果

## 1 調査の目的

文京区内で活動しているNPO法人の活動状況や、「新たな公共プロジェクト」に関する意見及びニーズを把握することを目的として行った。

## 2 調査対象

文京区内に主たる事務所を置くNPO法人

## 3 実施期間

平成25年5月30日～6月17日

## 4 実施方法

調査票は郵送にて送付・回収

## 5 配布数

356

## 6 回収数（回収率）

72（回収率 20.2%）

## 7 集計にあたって

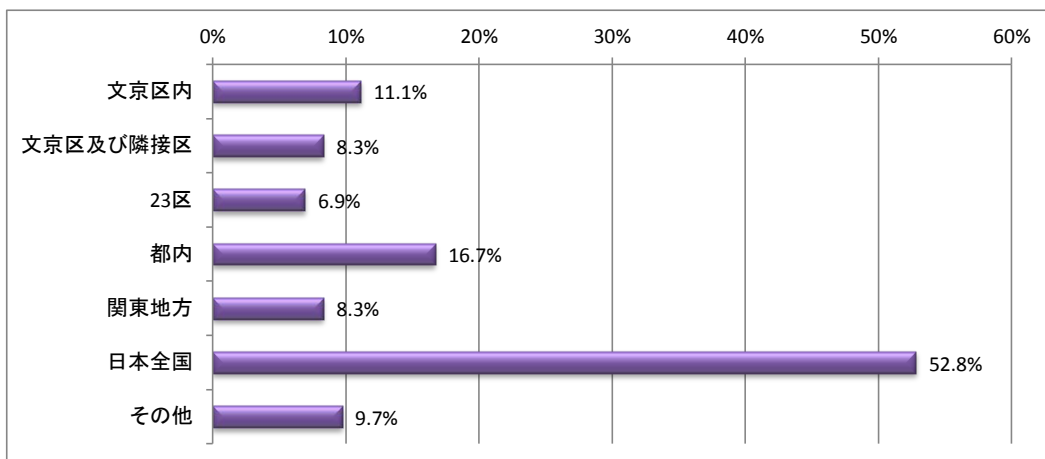
回答の比率（%）は、回収数を基数として、算出した。したがって、複数回答の場合は、すべての比率を合計すると100%を超える。

団体が特定される可能性のある情報は伏字とした。

## 8 集計結果

（1）主な事業・活動エリア（複数回答）

文京区内	8	11.1%
文京区及び隣接区	6	8.3%
23区	5	6.9%
都内	12	16.7%
関東地方	6	8.3%
日本全国	38	52.8%
その他	7	9.7%



(2) 地域課題解決のために、取り組めたらいいと思う活動。地域の中でもっと充実すべき活動  
(自由記述)

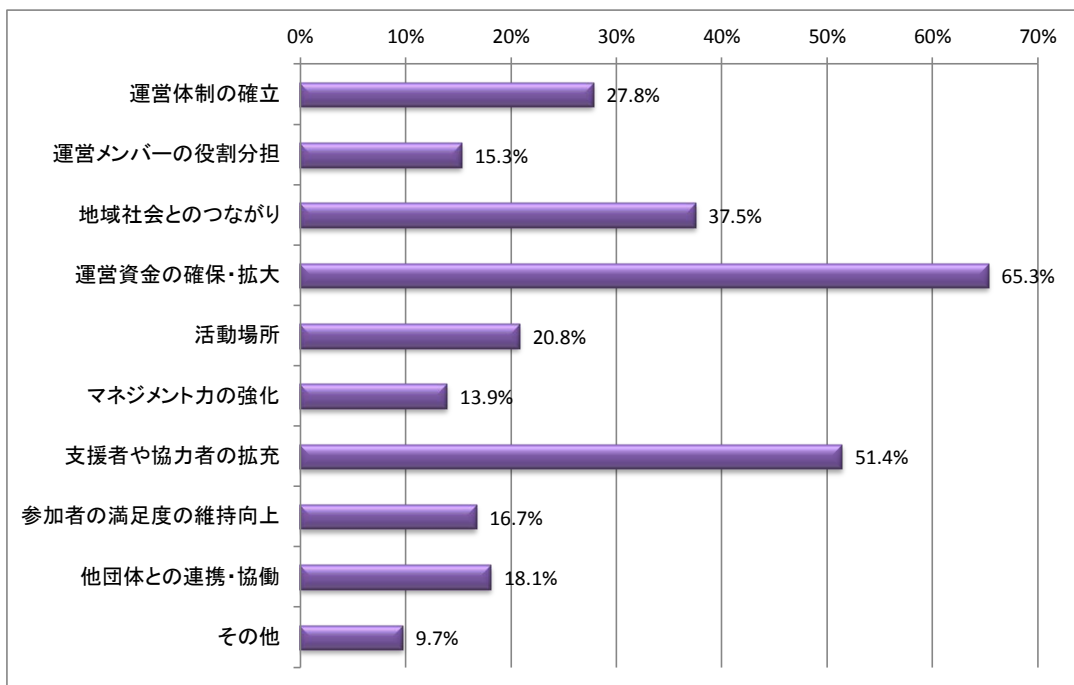
地域コミュニティの再構築、つながりの作成。
戸建住宅、マンションの耐震性向上推進のため区と協働 区内歴史的建物案内者（ボランティアガイド）に対するスキルアップ支援 一般区民向け建築セミナー
世界の人々との交流
大都市の高齢化問題に関する情報の発信 ますます小規模する家庭問題、とくに高齢者の家族問題
庁内に新しい公共プロジェクト事務局が設置されたのは、大きな進歩であると期待している。 専門家会議の提言も読ませていただき、期待を大きくしています。
DV、性暴力被害者の地域における生活再建のための連携活動
災害時における緊急支援を喫近の課題としつつ、日常的な農村地域との交流を進めながら、高齢化社会における二地域居住や農村定住に向けた福祉ツーリズムの展開を推進していきたい。
活動コンセプトの近い個人、団体の方とコミュニケーションをとって、どのような地域が、住民にとって暮らしやすい地域かを考え、共に創造していく活動。
外国にルーツを持つ子ども達への支援活動
当団体は、建物の耐震化を通して安全な街の実現を目指す建築系の専門家の集まりです。活動の一環として「木密地域の災害対策」を検討して来ました。私達の活動に関心のある地域・町会などがあれば、協力できると考えています。
区内学校に通う学生、区内企業の就職活動マッチング（採用担当者との懇談など）※当会では実施の前例はありません。
これまで都の委託事業が活動の中心で地域に根ざした活動にまで及ばなかった。今後は、文京区の本事業を踏まえ、積極的に取り組んでいきたい。 具体的には地域の人的地源と社会資源をつなげる活動、認知症予防プログラムの推進など高齢者地域社会の拠点づくりに参画して行きたい。
自主管理組合も含め、一般マンション管理組合の組合員に対する支援活動。不当な理事会や理事の横領等
仕事を出す（NPOに対して区が）
高齢者がもっと活力をもって活動あるいは就業できるようにする活動 一人暮らし高齢者又子育ての母親等広く悩みを抱えている方へのカウンセリング 以上2点を重点的に取り組んでいきたいと思っています。
地域の環境問題
社会的弱者の居場所づくり
一般市民への情報提供の場がない市民セミナー告知の方法に悩んでいる。
文京区には東京養育家庭制度の養育家庭がおりません。文京区は里親拡充に対して何か対策を考えているのでしょうか。
学校の校庭に外来植物ではなく、日本在来の昆虫食樹となる植物を植えること。
文京区内にフィールドはありませんが、子供会など区内の団体が洞窟探検を計画する際は、ご相談にのります。
老人福祉

公共建築の木造・木質化及び地域の緑化推進
まだあまり知られていない活動なので、広報宣伝がもっと必要だと感じています。
小・中学校に患者や障害者が講演できる機会をつくることで、健康や人権などについて子どもたちが考える場をつくりたいと考えています。
障がい者雇用による環境保全事業（リサイクル含む）
当団体は〇〇〇が集まる市民ネットワーク組織です。会員それぞれが学び、発信しながら自然エネルギーの普及を目指しています。現在、行おうとしているのが会員同士による簡易な太陽光発電のメンテナンスチェック、故障の抑止にもなるため、万が一の災害時でも安心のほか、ユーザー同士の交流のよって、コミュニティも生まれます。文京区としても取り組める活動かもしれません。
犯罪被害者の実情、置かれている状況を市民活動及び文京地域活動を通じて広報啓発を行っていききたい。
地元へ皆さんに盲人マラソンを知ってもらおう取り組み（伴走の仕方、視覚障害者のガイド法など）
中間支援的な機能の団体の役割ですから、地域の活動に注視しながらPRしていきたい。
地域のNPOの信頼性向上のために、会計税務の相談、研修等の支援
食育及び地域特産品開発指導
山村と都心の交通・流通・交流
区民ニーズの把握。農産物、特産品の区内販売拠点を考えたい。
①生活習慣病その他の疾病予防、要介護状態にならない予防的自己努力など、元気で長寿の日常生活の中での予防の知識・意識・方法の高齢者への啓発普及活動。 ②高齢化のピーク（2025年）に備え、住民互助の地域づくり（支え手・受け手のコーディネート）
文京区民への農林漁村ボランティア機会提供 文京区民への積み木の利用機会の拡大
ボランティアの養成と派遣
NPOとしての発信をもう少し効果的に出来ないかという点
立場、世帯を超えた人々との出会い
文京区や隣接区での性的マイノリティ対応を充実させる。（身分証、住宅、教育、性別区分の柔軟化）
団体によっては、文京区内に活動をとどめようとせず、全国的な活動を推進する。
現在、当団体は地方都市の過疎化、高齢化が進む地域における「買い物難民」問題をテーマに活動していますが、今後はより幅を広げ、住民の方々が重要だと感じているテーマがあれば、何でも取り組んでいきたいと考えています。
子どもに関わる専門家（教師や福祉職等）への発達障害に関する知識や対応スキルについての普及啓発
近所の子育てママや幼児教育に興味関心のある方にモンテッソーリ教育を紹介していきたい。
団体の目的、性格から地域課題解決に取り組むことは少ないと考えています。
文京区内の子供たちの活動を協働できたらよいと思っています。
①聴き方教室（人の話を聴くためのスタンスと聴くためのスキルの学習。話し方教室はあるが、聴くという極めて人間関係で大切な視点が欠落している日本的傾向に新しい風を吹き込むため。） ②親の役割、親としてのスタンスを根底から見つめる教育講座の開催
地域映画アーカイブの事業を担わせていただいております。文京区の古い映像を収集保存し、活用していくためにも、長期的なプロジェクトとして本格化していただければ嬉しく思います。

「帰国者」の存在を一般市民がもっと理解してほしい。「帰国者」というものが生まれた日本、中国の歴史を知ってほしい。
城塞史跡の整備とそれを使った「まちおこし」
環境に配慮した商品の積極的な販売を活動の一つとして行っています。これらを区民の多くの人々が知っていただき、利用していただくのは、どうすればよいのか、広報活動以外何ができるか考えるところです。
地域における、ボランティア活動の参加促進、ボランティア育成への協力 国際協力活動に関心がある学生等を、インターン・ボランティアとして受入れ 高齢者が活き活きと学び、活躍できる場づくりへの協力

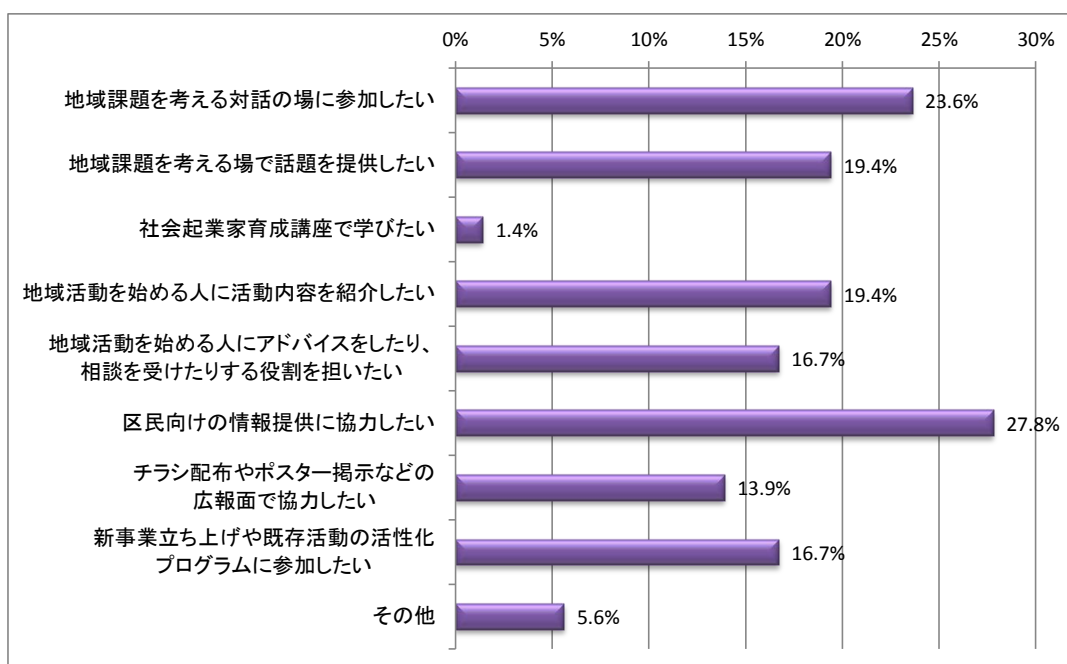
(3) 事業や活動を継続・発展する上での課題（複数回答）

運営体制の確立	20	27.8%
運営メンバーの役割分担	11	15.3%
地域社会とのつながり	27	37.5%
運営資金の確保・拡大	47	65.3%
活動場所	15	20.8%
マネジメント力の強化	10	13.9%
支援者や協力者の拡充	37	51.4%
参加者の満足度の維持向上	12	16.7%
他団体との連携・協働	13	18.1%
その他	7	9.7%



(4) 新たな公共プロジェクトで参加したい内容（複数回答）

地域課題を考える対話の場に参加したい	17	23.6%
地域課題を考える場で話題を提供したい	14	19.4%
社会起業家育成講座で学びたい	1	1.4%
地域活動をはじめの人に活動内容を紹介したい	14	19.4%
地域活動をはじめの人にアドバイスをしたり、相談を受けたりする役割を担いたい	12	16.7%
区民向けの情報提供に協力したい	20	27.8%
チラシ配布やポスター掲示などの広報面で協力したい	10	13.9%
新事業立ち上げや既存活動の活性化プログラムに参加したい	12	16.7%
その他	4	5.6%



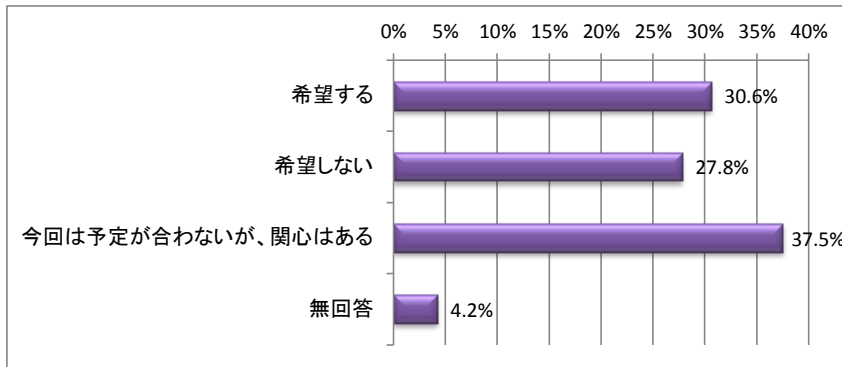
(5) プロジェクトに期待すること（自由記述）

文京には高い意識と学識を持つ住民が多くいる街である。この取り組みは、文京区だからこそ達成できる可能性があると考え、是非、協力させていただきたい。
地域課題の東京テーマの一つとして挙げられている「まちの資源を活かした地域ブランディング」について、区内歴史的建造物の知識を深めていただく活動の担い手になれば、幸甚です。
呼び水効果としてぜひ続けてください。
長い寿命を生きる時代に望まれる地域社会のあり方をさぐること
代表が〇〇〇大学〇〇〇学部で〇〇〇を講義し、実践活動を推奨しているので、学生やサークルが参画できる道をつくってほしいと思います。
地域づくりを考えていらっしゃる様々な人と知り合いになれること。
また十分理解できていません。
子供の教育に関する活動をしています。学校に対する働きかけだけではなく、ご父兄に対して何をご協力できるか、見付けることが出来れば、と考えています。

プロジェクトに参加した人たちが自主化して、継続できるようなシステム
とりあえず参加してみます。
内容についてもう少し詳細を理解した上で積極的に参加したいと思います。
よい企画だと思います。ご協力ください。
起業家の育成よりも福祉に力を注いで欲しい。特に老人福祉
現在の課題及び事務作業が手一杯で新しい試みに目を向ける余裕がない。残念である。
とにかく、一般の方、地元企業に知っていただきたい
どんなことができるのか、まだ分かりませんが期待しています。あとは若い人たちを巻き込んでください。
地域活動の結びつけとして、地域講座等に参画して、講座を提供する方法を期待します。
下記活動の日程が合わないので参加できません。
田舎、農業、農村、食などに係わる区民ニーズの情報をいただけるとありがたい。
「新たな公共プロジェクト」は全国自治体が求められ、取り組みを強化しようとしているところ。文京区の動きを会員向けニュースで情報提供することぐらいはできるが、他との比較、評価が困難
当〇〇〇がどのような関わり方ができるか具体的に分からないので、相互の協力の形がよく分かりません。申し訳ありません。
区全体がひいては日本全体が元気が出るようなしくみを作っていければ素晴らしいと思います。
参加することで学んでいけたらと思っています。
自団体の活動に忙しく、他との協業を検討する余裕がない。ネットツールの運営技術を持っているが、他に提供して無償の作業が増えても困る。過去に講座を文京区の元での提供について区と話し合ったが、魅力が感じられなかった。
様々な団体が共通するミッションを持ちそれぞれ活動していることと思うが、上手く協働することで課題がより速やかに解決されれば期待している。
申し訳ありませんが、国際支援団体が地域課題解決にどう寄与できるかイメージが湧きません。
「対話の場」「社会起業家育成講座」など要するにプロジェクトの内容をみてもよく理解できないが、つまりは、「文の京」の中でも「みんなで起業家を育て」（社会起業家とはいっても）お金儲けをしようということでしょうか。何をもちて起業家と呼び、何を対話の場にしようとしているのか。
文京区には当会が念頭に置く調査対象はないので参加は困難
地道な活動、責任のある行動と活動、これにつきると思います。
文京区に事務所がありながら、地域とのつながりを築くことができていず、これからは、区役所、町内会、地域団体、教育機関、住民との連携を深めたい。

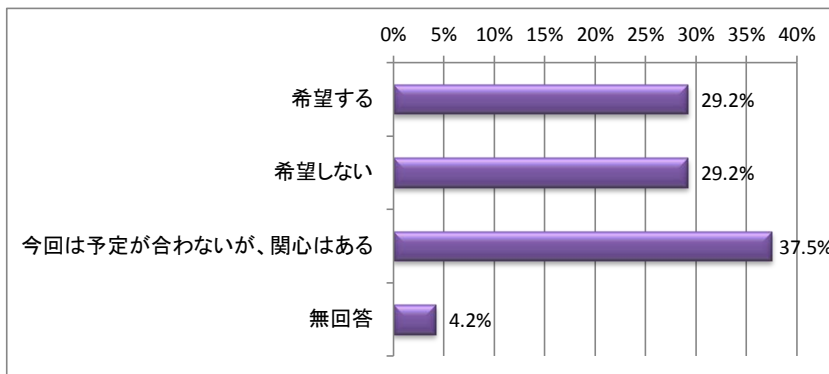
(6) 区内NPO意見交換会への参加

希望する	22	30.6%
希望しない	20	27.8%
今回は予定が合わないが、関心はある	27	37.5%
無回答	3	4.2%



(7) プロジェクト登録説明会への参加

希望する	21	29.2%
希望しない	21	29.2%
今回は予定が合わないが、関心はある	27	37.5%
無回答	3	4.2%



(8) メールマガジンの配信希望

希望する	44	61.1%
希望しない	13	18.1%
今回は希望しないが、関心はある	12	16.7%
無回答	3	4.2%

